

台湾における MaaS の進展について

公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所 研修生 有岡 美奈

1. 高雄市における MaaS (Mobility as a Service) 実証

(1) 取組の背景

MaaS (Mobility as a Service) とは、複数の種類の交通手段を連携し、一つのサービスとして提供するものである。ユーザーの利便性を高めることにより、移動の効率化、交通機関の利用促進、都市部での交通渋滞の解消、地方部への観光誘客などに繋がるものとして注目されている。

台湾に来て驚かされることの一つに、バイクの交通量の多さがある。MRT や路線バスなどの公共交通網が充実している台北市や新北市などを除き、台湾ではバイクでの移動が一般的である。2017 年の調査によると、南部中核市の高雄市では 68% の住民が主な通勤手段としてバイクを利用しており¹、公共交通機関の利用率はわずか 9.3%²であった。台湾内で最も多様な移動手段を有する高雄市³であるが、バイク利用が多いことから交通事故件数も多く⁴、公共交通機関の利用率をいかに向上させるかが大きな課題となっていた。このような背景のもと、同市は 2017 年に国から MaaS 実装に向けた実証地域に選定された。

(2) 南部の MaaS サービス「MeNGo」

高雄市の MaaS 事業においては、交通部運輸研究所主導の下、ウェブサイト・アプリの構築や、運賃プランの策定、利用者の行動分析及びビッグデータデータベースの構築などが行われ、モニターによる検証ののち、2018 年 9 月にスマートフォンアプリ「MeNGo」がリリースされた。アプリあるいは駅等で定期パスを購入すると、一つのパスで MRT、LRT、路線バス、フェリー、シェアサイクル、タクシーを利用することができる。また、アプリ上では複数の移動手段を組み合わせたルート検索ができるようになっている。「MeNGo」リリース以降も、対象交通機関や決済方法の拡充等、利用率拡大に向けた取組を行っている。さらに、観光・ビジネス向けの短時間プランの追加、より使いやすいアプリデザインの検討

¹ 「公共運輸行動服務發展應用分析與策略規劃」(2017 年)における調査より

² 交通部統計処 2017 年統計より

³ 公共交通機関は MRT、LRT (ライトレール)、路線バス、高速バス、シェアリングサービス (車、バイク、自転車)、フェリーがある。

⁴ 2021 年道路交通安全總報告 <https://168.motc.gov.tw/theme/car/post/2203011145904>

など新たな取組を行いながら、収集されるビッグデータや利用者のからのアンケート結果を分析し、改良のための試行錯誤が続けられている。

2. 三大都市圏への MaaS サービス展開

今年7月、台湾の北部や中部、南部の三大都市圏で、同一都市圏内の公共交通機関が実質乗り放題となる共通定額定期券「TPASS」の運用が開始された。高雄市における取組が全国に広がった格好であり、三大都市圏以外でも、複数の自治体及び都市圏で同様の定額乗り放題サービスが開始あるいは計画中となっていることから、今後もさらに範囲を拡大していくものとみられる。高雄市では、TPASS のリリースにより台南市・高雄市・屏東県エリアでの乗り放題プランが追加されることとなった。これに伴い、従来の市内乗り放題プランについては見直しが行われ、定期パス購入時に付与される「MeNGo ポイント」が廃止された。これ



MRT 車内の広告(筆者撮影)

により、タクシーやシェアバイクでポイント還元による割引を利用することができなくなったものの、新たなプランでは金額が従来よりも大幅に下がった。これが内容・金額ともにシンプルで使いやすくなったと好意的に捉えられたのか、月平均利用者数は1.2万人から4.2万人と急上昇している。

交通部は、TPASS の推進により、今後3年間で公共交通機関利用量の5%上昇、交通事故の5%削減達成を目標としており、あわせて、CO2削減効果等の間接効果についても追跡評価を行っていくとしている。

3. 福岡県での MaaS の取組

福岡県でも、官民が連携して MaaS の推進に取り組んでおり、今年8月、日田彦山線 BRT (BRT ひこぼしライン) の開業に合わせ、MaaS の実証実験として BRT の1日フリーチケットと飲食店の割引など地域限定特典がセットになった1日パスが販売開始された⁵。台湾の TPASS は通勤・通学での利用を主に想定しているが、こちらは日常だけではなく、観光での利用も想定されている。飲食業などモビリティ以外の業種との連携により、相乗効果で地域の活性化が期待される。複数の交通手段を1つの移動手段として統合し、人々の移動の利便性を向上させていくにあたり、台湾の取組も参考となりうることから、今後も台湾の MaaS を含む交通のスマート化の取組について注視していきたい。

⁵ 県記者発表 (2023年8月18日) <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/fukuokamaas.html>